

しぶや おすすめの本50 2023

せかい し
世界を知る

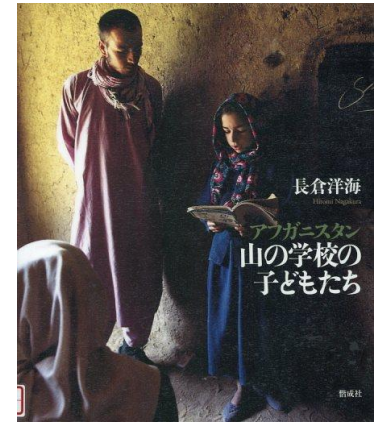
ねんせい
3・4年生のみなさんへ

*・・・2023年にあたらしく入った本

「しぶや おすすめの本50」2023は、「世界を知る」をテーマに本をえらびました。

世界には、わたしたちの知らないことがたくさんあります。はじめて見る生きものや、きょうのおやつがどうやってできているか？友だちがどんなことをかかんがえているかを知ることも、「世界を知る」ことにつながるでしょう。

あたらしいことを知ることは楽しいことです。楽しい本にであえますように！



アフガニスタン山の学校の子どもたち

ながくら ひろみ
長倉 洋海
偕成社

アフガニスタンの北部、川の流れる谷に山の学校があります。そこに通う子どもたちの様子が、写真を通して生き生きと描かれています。キラキラとした瞳、輝く笑顔。日本と遠く離れた国で懸命に学ぶ子どもたちの姿が、ページから伝わってきます。



アラビアン・ナイトのおはなし

なかがわ まさふみ あかば すえきち
中川 正文 ぶん／赤羽 末吉 え
のら書店

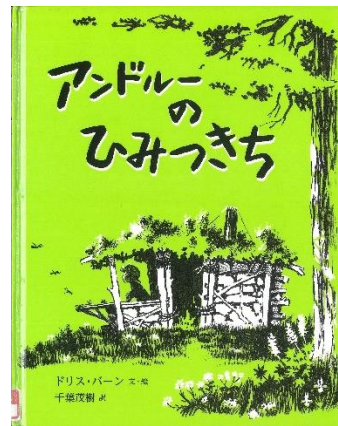
アラビアン・ナイトは千夜一夜物語とも呼ばれています。この本には、その中から有名な「アリババと四十人のとうぞく」「アラジンとまほうのランプ」「空とぶ木馬」を収めています。知恵・勇気・愛の力を3つの物語から感じとってください。



アルフはひとりぼっち

作 C・アネット／絵 S・ケロググ／訳 掛川 恭子
童話館出版

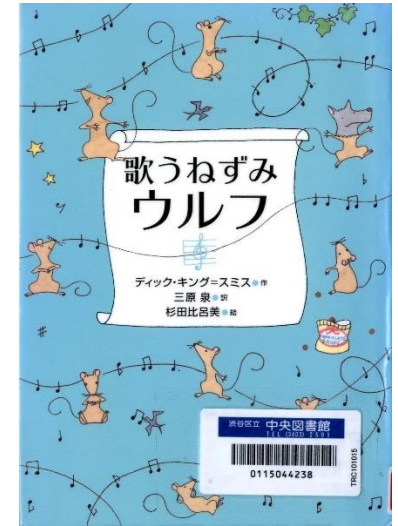
ロバのアルフは一緒に飼われている犬やネコがうらやましくてたまりません。仕事もしていないのに かわいがられているからです。一生懸命仕事をしているのに、どうして愛してくれないの？そう思いこんだアルフは、ある行動をおこします。



* アンドルーのひみつきち

ドリス・バーン 文 絵／千葉 茂樹 訳
岩波書店

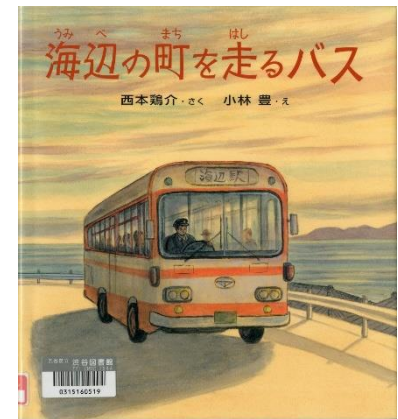
アンドルーは、ものづくりが大好きな少年。でも、家族にはわかってもらえません。そこで、「じぶんだけの、ひみつきちをつくるぞ」と家を飛び出します。アンドルーと家族は、どうなるのでしょうか？



うた 歌うねずみウルフ

ディック・キング＝スミス 作／三原 泉 訳
杉田 比呂美 絵／偕成社

すばらしくきれいな声で歌うねずみを知っていますか？名前はウルフガング・ア・マウス・モーツァルト。長い名前なのでウルフとよばれています。ピアノが上手な老婦人ハニービーさんは、ウルフと仲良くなりたくて作戦をたてました。

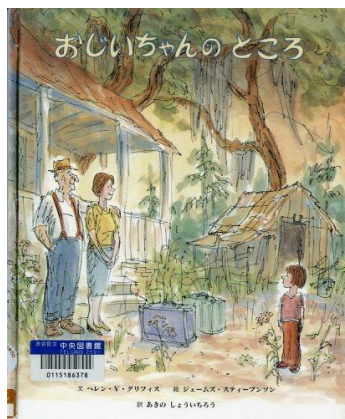


うみ べ まち はし 海辺の町を走るバス

にしもと けいすけ さく／小林 豊 え
そうえん社

夢がかなってバスの運転手になった中田さん。いつものようにバスの運転をしていると、踏み切りで線路の中を歩いているおじいさんを見つけました。中田さんはおじいさんを助けようと、いそいで線路の中を走っていきました。

おじいちゃんのところ

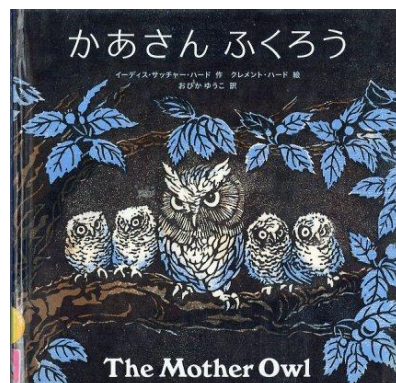


文 ヘレン・V・グリフィス／絵 ジェームズ・ステューブソン

訳 あきの しょういちろう／ 童話館出版

ジャネッタはおかあさんといっしょに、初めて汽車にのって、おじいちゃんに会いにいきました。最初はおじいちゃんも家も好きになれなかったけれど、昔、おじいちゃんの庭に星がおちてきた話をきいて、二人は気があうようになりました。

かあさんふくろう



イーディス・サッチャー・ハード 作／クレメント・ハード 絵

おびか ゆうこ 訳／偕成社

りんごの木の巣穴で、かあさんふくろうが卵をあたためています。やがて卵はかえり、4羽のひなたちが生まれました。かあさんふくろうと とうさんふくろうは、協力しながらひなたちを育てます。ひなたちは無事に育つでしょうか？

かげ

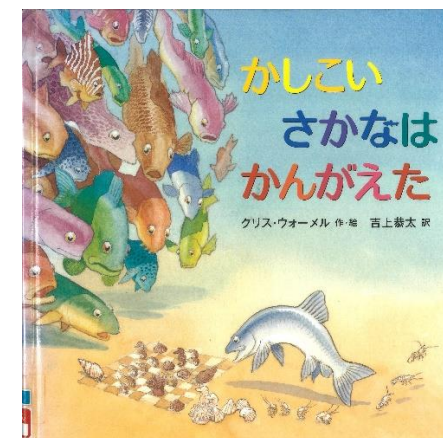
スージー・リー

こうだんしゃ
講談社

かげあそびをしている女の子がいます。かげって不思議。まねっこだし、鳥を作ったり、キツネを作ったり。あれれ、いつの間にかかげたちが動きだして、女の子もかげの世界へ…。



* かしこいさかなはかんがえた



クリス・ウォーメル 作 絵／吉上 恭太 訳

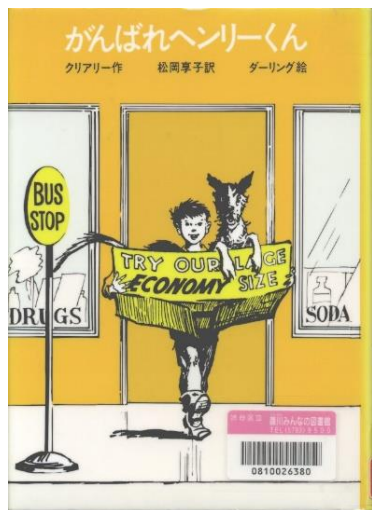
とくましょてん
徳間書店

大むかし、1匹のかしこい魚が、陸の上を探検する夢をもっていました。どうすれば、魚は歩けるようになるのかな？かしこい魚は考えて考えて、ある日、すばらしいことを思いつきます。この絵本で、生物の進化の謎にせまろうか？

がんばれヘンリーくん

クリアリー 作 / 松岡 享子 訳
ダーリング 絵 / 学習研究社

小学校3年生のヘンリーくんが、ひろった雑種犬のアバラーとともに巻き起こすできごとが、ゆかいに語られています。アメリカの子どもの日常生活を生き生きと描いたシリーズの第1作。



きょうはなんのひ?

瀬田 貞二 作 / 林 明子 絵
福音館書店

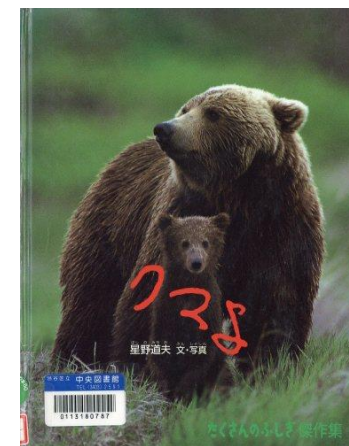
朝、まみこはおかあさんに、ひとつめのでがみの場所をおしえます。それを讀んだおかあさんはつぎつぎにてがみを見つけます。さて、なにがみつかるのでしょうか?そして、さいごにわかるきょうはいったいなんのひ?



* くまのピエール

イブ・スパング・オルセン 作 / 菱木 晃子 訳
こぐま社

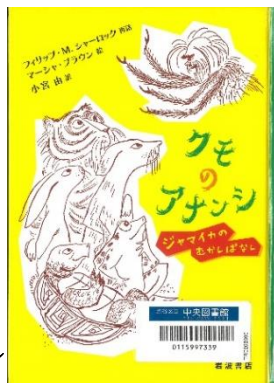
くまのぬいぐるみのピエールは、いつも少し失敗してしまいます。花だんの石をジャガイモだと思っ**て**運んでしまったり、足のうらに雪がついて背がど**ん**ど**ん**高くなつてしまつたり…可愛くてにくめないピエールの、楽しい7つのお話。



クマよ

ほしの みちお ぶん しゃしん
星野 道夫 文 写真
福音館書店

アラスカの美しい四季の景色と、その中でたくましく生きるクマたち。まるでアラスカに行つて、目の前でクマたちを見ているような気持ちになる写真絵本です。



* クモのアナンシ ジャマイカのむかしばなし

フィリップ・M. シャーロック 再話 / マーシャ・ブラウン 絵
小宮 由 訳 / 岩波書店

カリブ海の島々で昔から語り継がれてきた話が14話入っています。主人公は、クモのアナンシ。ときどき人間にもなります。悪知恵をはたらかせて、うまくやろうとしたアナンシが、逆にやられてしまったり、くすっと笑える楽しい話ばかりです。



* 黒ネコジェニーのおはなし 1

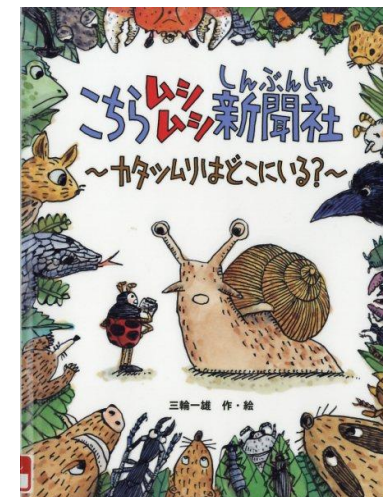
ジェニーとキャットクラブ

エスター・アベリル 作 絵
松岡 享子 張替 恵子 共訳 / 福音館書店

黒ネコのジェニーは、助けてもらったキャプテンの家でふたり仲良くすごしていました。キャプテンの庭にはキャットクラブというネコの集まりがありました。でもジェニーは、はにかみやで、入りたくてもなかなかクラブに入れません…。

こちらムシムシ新聞社

カタツムリはどこにいる？



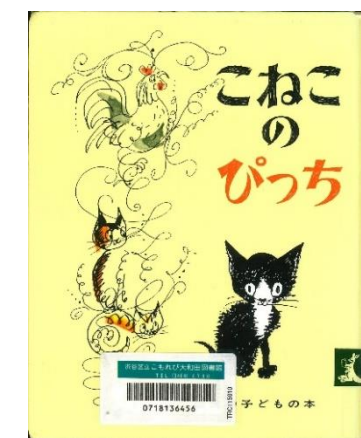
三輪 一雄 作 絵 / 偕成社

フランス料理にはカタツムリの料理があるけど、自然界でも多くの生き物がカタツムリを食べて生きています。でも、なぜか都会ではカタツムリが減っているみたい。どうしてだろう？ムシムシ新聞社の七星記者は調査を開始しました。

* こねこのぴっち

おはなしとえ ハンス・フィッシャー

やく 石井 桃子 / 岩波書店



リゼットおばあさんの家で生まれた一番小さい子ねこのピッチは、兄弟たちとはあそびません。他の動物たちのところへ出かけて行き、いろいろなことをして、疲れて、ウサギ小屋でねむってしまいました。ところが夜中に目がさめると、そこには！



300年まえから伝わる とびきりおいしいデザート

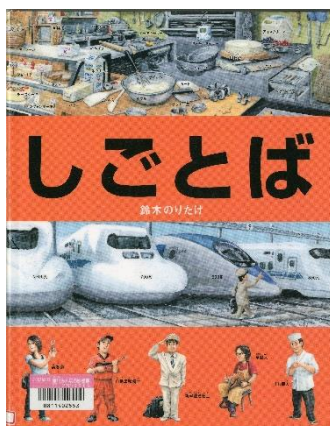
エミリー・ジェンキンス 文 / ソフィー・ブラッコール 絵
横山 和江 訳 / あすなろ書房

この本をよむと、きっとあなたもこのデザートを食べたくなるはず！同じデザートでも、今と300年前では作り方にちがいが。作り方のほかにちがうところは？最後にレシピもついています。300年も前の人たちと同じ味を楽しめるなんて、すてきですね。

しごとば

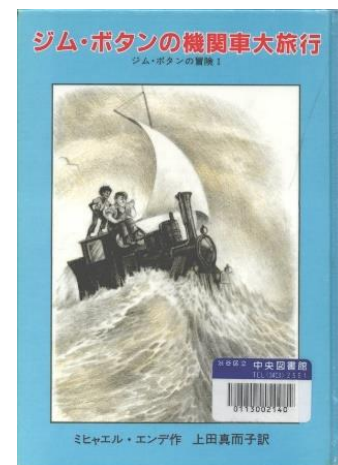
鈴木 のりたけ
ブロンズ新社

みなさんは、将来どんな仕事をするのでしょうか。この本には、10種類のしごとばと、その道具が細かくえがかれています。そしてどんな順序で仕事をしていくかもくわしく書かれていて、まるで実際に見学に行ったかのように、よくわかりますよ。



ジム・ボタンの機関車大旅行

ジム・ボタンの冒険1



ミヒヤエル・エンデ 作 / 上田 真而子 訳 / 岩波書店
国民が4人しかいないフクラム国に、ある日ふしぎな小包が届きました。中身はなんと赤んぼう！ジムと名付けられ、すすく育ちましたが、ジムがふえたことでフクラム国は住人が多くなりすぎて、誰かが出ていかなければならなくなりました。

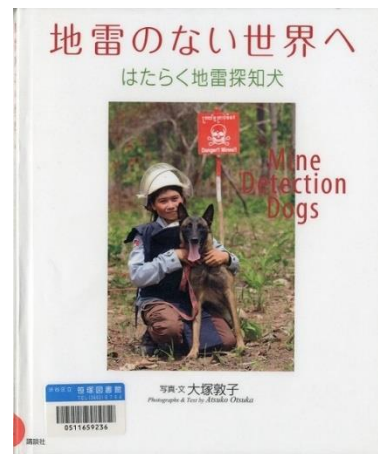
女王さまのかげ

動物たちの視覚のはなし

シベール・ヤング 作 / 千葉 茂樹 訳 / B L 出版
お城で舞踏会が開かれました。ところが、なんと女王さまの「かげ」がなくなってしまったのです。名探偵シャコは犯人さがしにのりだします。動物たちのもの見え方が、犯人さがしの鍵になる科学絵本！君たちも物事の一面だけを見てはいないかな？



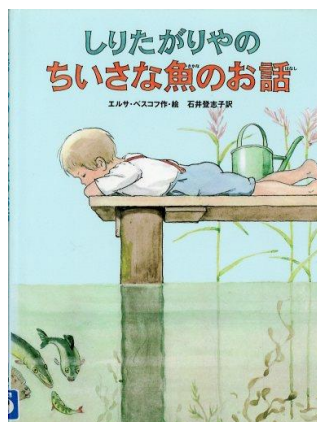
じらい せかい じらいたんちけん
地雷のない世界へ はたらく地雷探知犬



しゃしん ぶん おおつか あつこ
写真文 大塚 敦子
こうだんしゃ
講談社

せかいじゅうに埋められた地雷を、人間と共にのぞく仕事をしている犬たちがいます。「地雷探知犬」と呼ばれるその犬たちは、人間にはなかなかみつけることのできない地面の下に地雷を、匂いを頼りに探しだしていくのです。

しりたがりやのちいさな魚のお話



エルサ・ベスコフ 作 絵 / 石井 登志子 訳
とくましょてん
徳間書店

すばしっこくて、知りたがりやのスズキの子、スイスイ。ある日、小さな男の子トーマスに水のない世界につり上げられてしまいます。その晩、トーマスのところに不思議なお客さまがやってきて…。

* すうがくでせかいをみるの

ミゲル・タンコ 作 / 福本 友美子 訳
ほるぷ出版

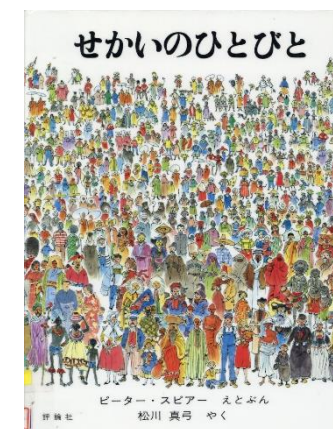
みんなのすきなものってなにか。わたしのすきなものは…すうがく！じつは、せかいは、すうがくでいっぱいなんだよ。すきなものとおしてせかいをみると、これまでとちがったもののみかたやかんがえかたに、きづけるかもね。



せかいのひとびと

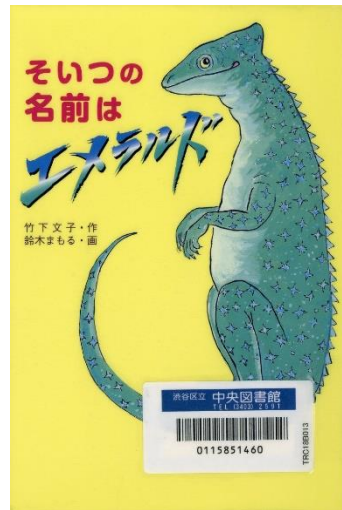
ピーター・スピアー 作 絵 / 松川 真弓 訳
ひょうろんしゃ
評論社

今から40年ほど前に出版されたこの絵本は、時がたっても変わらない大切なことを描いています。それは、人はみんなちがうからすてきだっていうこと。本の中に無数に描かれる人々を、すみずみまで見て楽しんでください。



そいつの名前はエメラルド

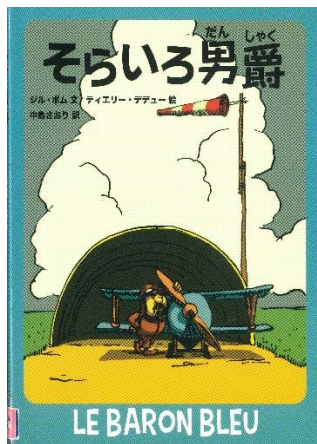
竹下 文子 作 / 鈴木 まもる 画
金の星社



そいつと出会ったのは、きみょうな小鳥屋にまよいこんだときだ。灰色に茶色のまだらもよう。しっぽが長くて、大きさは手のひらにのるくらい。いっしゅん恐竜と思った。そしたら聞こえたんだ、たしかにそう聞こえた。「つれてって！」って。

* そらいろ男爵

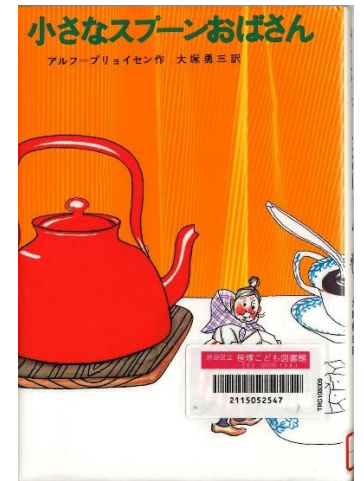
ジル・ボム 文 / ティエリー・デデュー 絵
中島 さおり 訳 / 主婦の友社



これは百年くらい前のお話です。自分で作った飛行機に乗って、鳥をながめて暮らしていたそらいろ男爵も戦争に行くことになりました。しかし、男爵が空から落とされたものは砲弾ではなく、辞書でした。それから、百科事典、おもしろい本…。

小さなスプーンおばさん

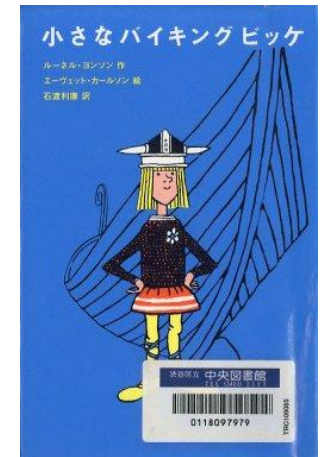
アルフ＝プリオイセン 作 / 大塚 勇三 訳
学研



スプーンおばさんは、ふつうのおばさんとそうちがいませんが、たった1つかわっているところがあります。急にティースプーンくらいに小さくなってしまいます。おばさんをめぐっておくるのは、おかしいことばかり！

小さなバイキング ビッケ

ルーネル・ヨンソン 作 / エーヴェット・カールソン 絵
石渡 利康 訳 / 評論社



ビッケは、弱虫だけどとっても頭のいい男の子。お父さんはフラーク地方をおさめるバイキングの族長です。力自慢のバイキングたちの中で、ビッケは力ではなく知恵を使って、大人に負けないはたらきをします。

チム・ラビットのぼうけん

A・アトリー 作 / 石井 桃子 訳
中川 宗弥 画 / 童心社

チム・ラビットは、村のくさかり場にあるおうちに、お父さんお母さんと一緒にくらしています。知りたがりでも可愛い小さなチムは、ハサミでなんでも切ってしまうたり、畑のかかしと友達になったり、雨の日はキノコをかさにしたり…九つのお話が楽しめます。



月からきたトウヤーヤ

蕭 甘牛 作 / 君島 久子 訳
岩波書店

おばあさんは、月から降りてきた老人の注文でわらじをあみしました。お礼にもらったトウモロコシの種から生まれたトウヤーヤは、大きくなると、おばあさんの病気をなおすために金の鳥をさがす冒険にでかけます。中国チワン族の民話。



土の色って、どんな色？

栗田 宏一
福音館書店

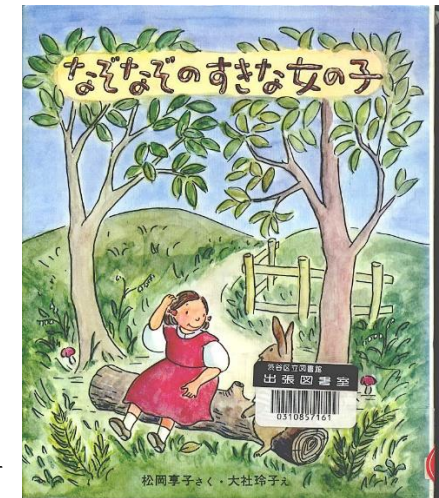
土をよく見たことはあるかな？雨あがりの水たまり、かわくにつれて色が変わる。場所によっても土の色がちがうんだよ。みんなの住んでいる関東の畑は黒っぽいけれど、関西の畑は白っぽい。いろいろな場所の土の色のちがいを見てみよう。

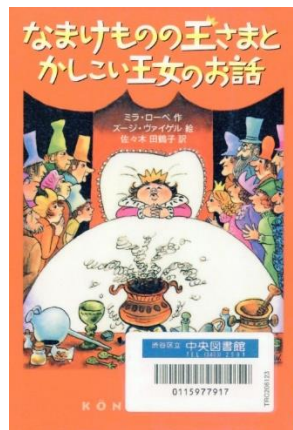


なぞなぞのすきな女の子

松岡 享子 作 / 大社 玲子 訳
学習研究社

なぞなぞ遊びをしてくれる人をさがしに、森へ出かけた女の子。オオカミと出会い、なぞなぞを出します。オオカミが弱ってしまったのは、どんななぞかな？

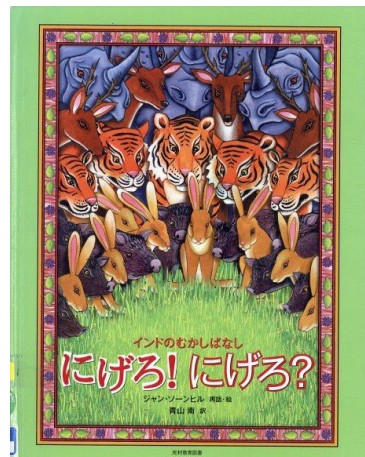




なまけもの^{おう}の王さまとかしこい^{おうじよ}王女のお話^{はなし}

ミラ・ローベ^{きく} 作 / ズージ・ヴァイゲル^え 絵
佐々木^{ささき} 田鶴子^{たづこ} 訳 / 徳間書店^{やくとくましょてん}

なに 森にするのもめんどろなナニモセン五世^{ごせい}が病気^{びょうき}になってしまいました。おうの 娘^{むすめ}ピンピ王女^{おうじよ}は、森^{もり}で出会^{であ}った少年^{しょうねん}と羊飼^{ひつじか}いのおじいさんの知恵^{ちえ}を生かして、王さま^{おうさま}の病気^{びょうき}をなおす作戦^{さくせん}を実行^{じっこう}します。王さま^{おうさま}のために大か^{だい}つやくする 王女^{おうじよ}のゆかいなお話^{はなし}です。



にげろ! にげろ?

インドのむかしばなし

ジャン・ソーンヒル^{さいわ} 再話^え 絵 / 青山^{あおやま} 南^{みなみ} 訳 / 光村教育図書^{みつむらきょういくとしよ}

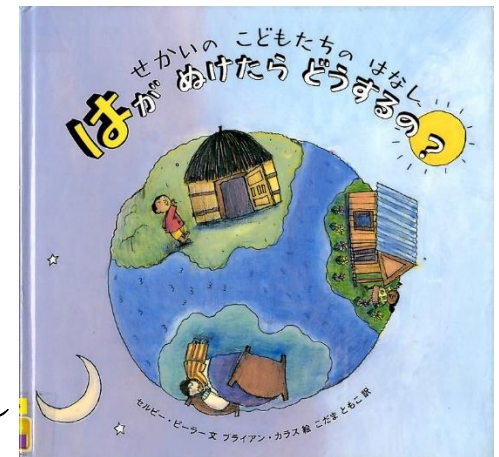
もりす 森^{もり}に住^すむ、心配^{しんぱい}ばかりするノウサギ^{うさぎ}は、ある日^ひ、大きな音^{おと}を聞^ききます。「世界^{せかい}がこわれはじめた!」ノウサギ^{うさぎ}は必死^{ひつし}で走^{はし}りだしました。それを見^みていたほかのウサギ^{うさぎ}たちも一^{いっしょ}緒^{しょ}に走^{はし}りだしたから、さあ、たいへん!



ぬすまれた^{たからもの}宝物

ウィリアム・スタイグ^{かねこ} / 金子^{めろん} メロン 訳
ひょうろんしゃ 評論社

おうしつ 王室^{ほうもつてん}の宝物殿^{たからもの}から宝物^{たからもの}がぬすまれました。うたがわれたのは見張^{みはり}りをしてい たガチョウ^{がちょう}のガーウェイン^{ガーウェイン}。信^{しん}じていた王さま^{おうさま}や友だち^{ともだち}から、犯人^{はんにん}と決めつけられてしまったガーウェイン^{ガーウェイン}は、悲しみ^{かなしみ}と怒^{いか}りから、裁判所^{さいばんしょ}を逃^にげ出^だしました。



はがぬけたらどうするの?

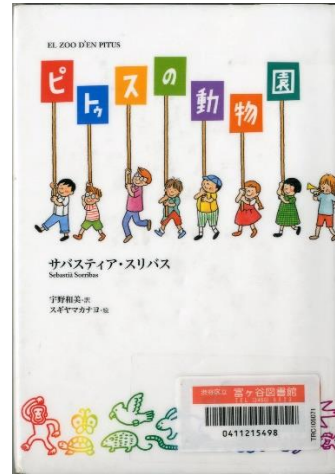
せかいのこどもたちのはなし

セルビー・ビーラー^{ぶん} 文 / ブライアン・カラス^え 絵

こだま^{やく} ともしこ 訳 / フレーベル館^{かん}

はがぬけたら、どうしてる? 屋根^{やね}に向^むけてなげちゃう? それとも大切^{たいせつ}にとつておく? 世界中^{せかいじゅう}の子^こどもたち^{どもたち}に聞^きいてみたら、ねがいごとをする、まくらの下^{した}に入れる、イヤリング^{イヤリング}にする…。いろん^{ふうしゅう}な風習^{ふうしゅう}が紹^{しょう}介^{かい}されているよ。みんなもまねしてみろ?

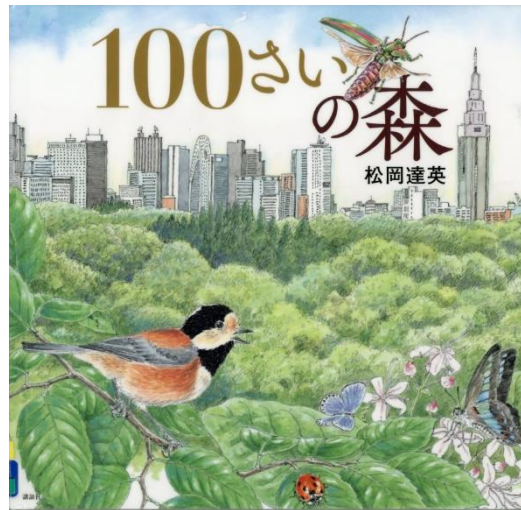
ピトウスの動物園



サバステア・スリバス / 宇野 和美 訳
スギヤマ カナヨ 絵 / あすなる書房

なかよし6人組のひとりピトウスが、難しい病気をなおすために外国へ行くことになります。そこでなかまたちは、ピトウスのために動物園を作って、お金を集める計画をたてました。ほんとうに子どもたちだけで動物園を作れるのでしょうか？

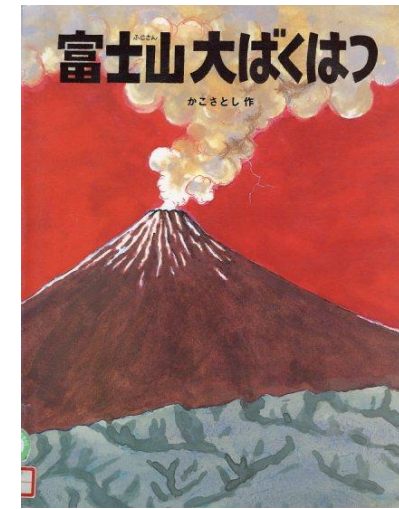
100さいの森



まつおか たつひで
松岡 達英
こうだんしゃ
講談社

原宿駅のすぐそばに、みどりの森があります。それは明治神宮の森。この絵本の舞台です。100年前、そこに植えられた幼いスタジイの木は、長い年月の間に大きく成長し、森のこれまでと今のようすを私たちに語りかけます。

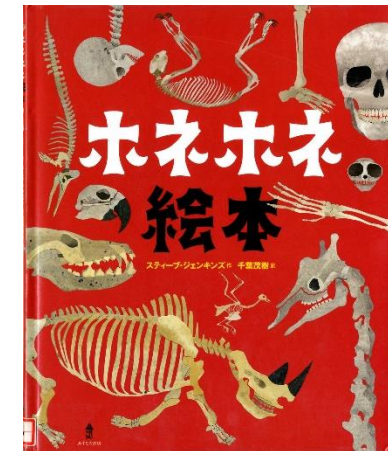
富士山大ばくはつ



ふじさんだい
富士山大ばくはつ
かこ さとし 作
こみねしよてん
小峰書店

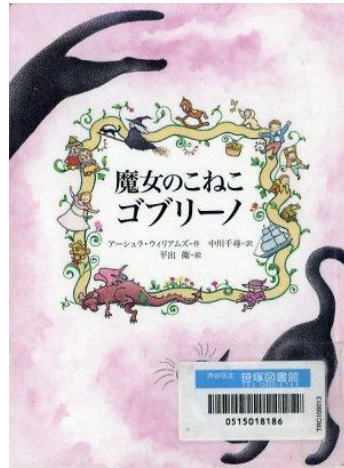
高く、大きく、美しい富士山。富士山は、何度も爆発をくり返しながら、今見られるような姿になりました。昔はどんな姿だったのでしょうか。そして、これから爆発は起るのでしょうか。

ホネホネ絵本



スティーブ・ジェンキンス 作 / 千葉 茂樹 訳
あすなる書房

表からは見えないけれど、動物の体をしっかりと支え、大事な脳や内臓を守っているのが骨格です。動物の骨格は大きさや形は違っても、動物それぞれの生き方にふさわしい形をしていて、その無駄のない美しさは見事です。



まじよ
魔女のこねこゴブリーノ

アーシュラ・ウィリアムズ 作/中川 千尋 訳
ひらいで まもる え 福音館書店

魔女ねこ一家のゴブリーノは変わっていて、将来は魔女ねこではなく、やさしい人たちといっしょに、あたたかい家に住む「台所ねこ」になりたいのでした。家族と別れたゴブリーノは、すてきな家を探すことにしますが…。



めいかいでんせつ
冥界伝説 たかむらの井戸

たつみや 章 作/ひろせ げん え
あかね書房

小学3年生の高村 悟は、京都のおばあちゃんの家に泊まりにいき、庭にある古井戸を探検します。そこで、「おぼけのたかむら」に出会うのですが、何と悟もおぼけになってしまいます。悟は人間にもどれるのでしょうか。



* ミリー・モリー・マンデーのおはなし

ジョイス・L・ブリスリー 作/上條 由美子 訳
きくち きょうこ え 福音館書店

ミリー・モリー・マンデーは、短い髪、短い足に、短い服を着た元気な女の子。おつかいに行ったり、パーティーに行ったり、赤ちゃんのお世話をしたり、ときめきがたくさんつまった、どこかなつかしいイギリスのおはなしです。



もりのほうせき ねんきん

あらい ふみひこ 写真 ぶん
ポプラ社

森の中で、たおれた木や地面をよく見ると…宝石のように美しい小さな生き物「ねんきん」がたくさん見つかります。赤、黄、黒、銀…色とりどり、形もさまざま。あちこち動いたり、えさを食べたり、うんちもする「ねんきん」の不思議な暮らしとは？

やさいの花

写真 埴 沙萌 / 文 嶋田 泰子
ポプラ社

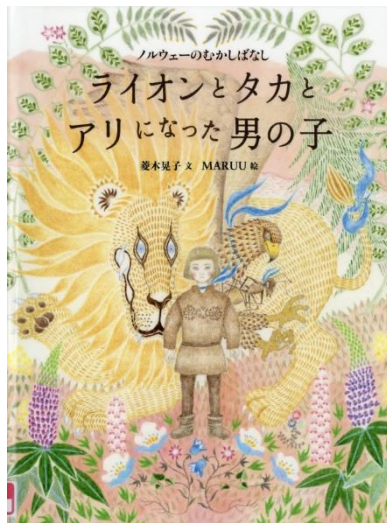


いつも食べているやさいにも花がさくことを知っていますか？この本には、ふだんあまり見ることのない、たくさんのやさいの花がしょうかいされています。あのやさいに、こんなにきれいな花がさくの！？やさいの花のひみつをさぐってみましょう。

ライオンとタカとアリになった男の子

ノルウェーのむかしばなし

菱木 晃子 文 / MARUU 絵
BL出版



ライオンとタカとアリのめめ事を解決した男の子は、お礼にライオンにもタカにもアリにも変身できる力をもらいます。さっそくタカに変身して空に飛び立った男の子は、湖の岸に立つお城でお姫様と出会います。お姫様はトロールにねらわれていました。

レモンをお金にかえる法 “経済学入門”の巻

レモンをお金にかえる法 “経済学入門”の巻

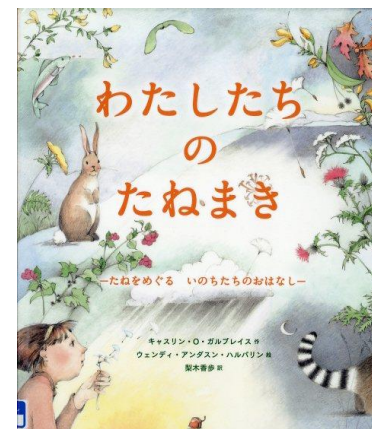


ぶん ルイズ・アームストロング / え ビル・バツソ / やく 佐和 隆光
河出書房新社

アメリカの子どもたちは小さいうちから、自分で作ったレモネードを家の前で売って、おこづかいをかせぐそうです。ちょうどこの本の女の子のように。みなさんが大人になっても役立つ経済学の知識や言葉を、子どもにもわかりやすく紹介した絵本です。

わたしたちのたねまき

たねをめぐる いのちたちのおはなし



キャスリン・O・ガルブレイス 作

ウェンディ・アングラスン・ハルパリン 絵 / 梨木 香歩 訳 / のら書店
私たちが庭や植木鉢に種をまいて植物を育てるように、地球全体でも、まるで大きな庭のように種まきが行われていることを知っていますか？風や鳥や動物、そして私たち人間も、知らない間にこの大きな種まきに参加して、植物の命を育てています。